

## アーツ前橋アドバイザーを委嘱します

アーツ前橋では令和3年度に引き続き事務職員が館長を兼務することになりましたが、専門職の館長選任までの間、臨時的措置として「アーツ前橋アドバイザー」を委嘱し、アーツ前橋の求めに応じて専門的な助言等をいただくこととしました。

- 1 名称 アーツ前橋アドバイザー
- 2 委嘱者 はぎわら さくみ萩原 朔美氏（水と緑と詩のまち前橋文学館 館長）
- 3 選定理由 現在、前橋文学館長の職にあり、本市及び群馬県にゆかりのある人物であるとともに美術大学において教鞭をとるなど、その幅広い見識の中でアーツ前橋の事業全般に対し、適切かつ貴重な助言をいただくことができるため。
- 4 任期 令和4年4月1日～令和5年3月31日

（参考）萩原朔美（はぎわら・さくみ）氏プロフィール

1946年11月14日東京生まれ。

映像作家、エッセイスト。多摩美術大学名誉教授。金沢美術工芸大学客員教授。

母は小説家萩原葉子、母方の祖父は萩原朔太郎。

1967年、寺山修司主宰の演劇実験室・天井棧敷の立ち上げに参加、俳優・演出家として活躍。1975年、月刊誌「ビックリハウス」をパルコ出版より創刊し、初代編集長を務める。

著書に『「演劇実験室・天井棧敷」の人々』（2000年）『毎日が冒険』（2002年）『死んだら何を書いてもいいわ』（2008年）『劇的な人生こそ真実』（2010年）他多数。

昨年、世田谷美術館に、版画、写真、本のオブジェ130点が収蔵された。

2016年4月より前橋文学館館長。

### 本件に関するお問い合わせ先

文化国際課 アーツ前橋

電話 直通 / 027-898-6522

027-230-1145